

はじめに

災害対策委員の皆様の役割の一つとして、①住民の方々へ災害に適した避難行動の伝達や、②住民の方々のニーズや災害時に危険な箇所の区役所への報告など、地域と本市との橋渡し役をお願いしております。

そのような皆様に、防災に関する情報をこのNewsで定期的にお届けします。

TOPIC! 『ハザードマップの改定』 ～令和4年3月より順次公表されます～

名古屋市では、「洪水・内水」、「地震」、「津波」の3種類のハザードマップによって、それぞれの被害の想定や避難場所をお知らせしています。

この度、水防法の改正をきっかけに、これらのハザードマップの見直しを行い、「高潮」のハザードマップを加えた新たな「総合ハザードマップ」の作成を予定しています。改定をきっかけにこれまでの避難行動を見直してみましよう。

【スケジュールと周知方法】

新たなハザードマップを災害の種類ごとに、内容の見直しが完了したのから順次お知らせさせていただきます。

種類	周知時期	周知方法
洪水、内水、 高潮(New)	令和4年3月	広報なごや特集号
地震、津波など	令和4年6月	ホームページと組回覧

⇒全種類のハザードマップと防災関連情報を冊子にまとめた『総合ハザードマップ』を令和5年3月にお届けします。

【ハザードマップとは】

ハザードマップは、起こるかもしれない最大級の災害による被害の想定をお伝えし、その情報に基づいて普段から避難行動を考えてもらうことや物資の備蓄など、日頃からの備えをしていただくことを目的としています。



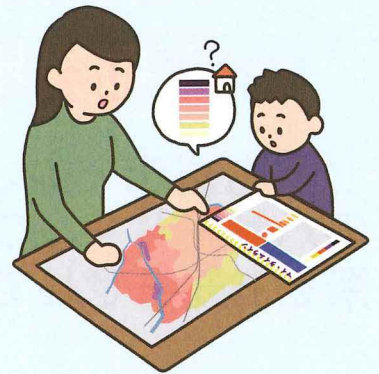
災害対策委員として

【周知・啓発をお願いします】

災害対策委員の皆様には、地域の防災リーダーとして、

- ①ハザードマップが改定される
- ②改定をきっかけにご家庭で防災について考える

ことを、普段の地域活動を通じて周囲の皆様にも広くお伝えいただくよう、ご協力をお願いします。



災害対策委員として

【共助の取組みもご検討ください】

ご家庭での対策とあわせ、地域での対策についても、ご検討をお願いします。お困り事は、下記の相談先までご連絡ください。

検討内容	主な相談先
・災害救助地区本部など 学区単位での活動について	区役所総務課 (防災担当)
・自主防災活動について (安否確認訓練等の実施)	消防署 警防地域第一(二)課

※学区ごとの災害リスク等は、市公式ホームページで公表している「地区防災カルテ」でもご確認いただけます。



風水害ハザードマップが変わります!

名東区

令和4年6月
から運用開始

本市では現在、来年3月の配布に向けて、「発生頻度は低いものの想定し得る最大規模の災害」が起こった場合を想定した風水害や地震・津波などすべての災害を掲載した新たなハザードマップの作成に取り組んでいるところです。この広報なごや特集号は、浸水想定が大きく変わる風水害について、6月からの運用開始に向けて、**想定される浸水深**と災害ごとの**命を守るための避難場所(指定緊急避難場所)**をいち早くお伝えするものです。

ハザードマップは「命を守るための地図」です。自然災害は、決して他人ごとではありません。日頃から次のことを確認し、災害から自分や大切な家族の命を守ってください。

- ① 想定される風水害の種類ごとに、ご自宅周辺の浸水深など災害の危険性の確認
- ② 名古屋市から出される「避難を判断するための情報」とその入手方法の確認
- ③ 「避難行動の目安」に基づく具体的な避難先とそこまでの経路および時間の確認

想定される風水害の種類 ※名東区では高潮の浸水想定はありません。



市全域で警戒が必要

川の水が堤防を越えたり壊したりすることで、街に水が流れ込みます。



市全域で警戒が必要

雨水が下水道などで排水できず街に水があふれます。



市西部・南部で警戒が必要

強風や低気圧の影響で海水面が上昇し、防潮堤や堤防を越えて水があふれます。



市東部で警戒が必要

がけが崩れ、土砂が雨水とまじって流れてきます。

避難を判断するための情報

避難行動の目安

警戒レベル	名古屋市から出される避難情報	とるべき行動
5	緊急安全確保 必ず発令されるとは限りません	命の危険 直ちに安全確保
4	避難指示	危険な場所から 全員避難
3	高齢者等避難	避難に時間のかかる 高齢者や障害のある人などは 危険な場所から避難

■警戒レベル1、2は気象庁が発表する注意報など

避難時の注意点

1 ひも付き運動靴で!

2 隣近所に声をかけて、地域で助け合いましょう!

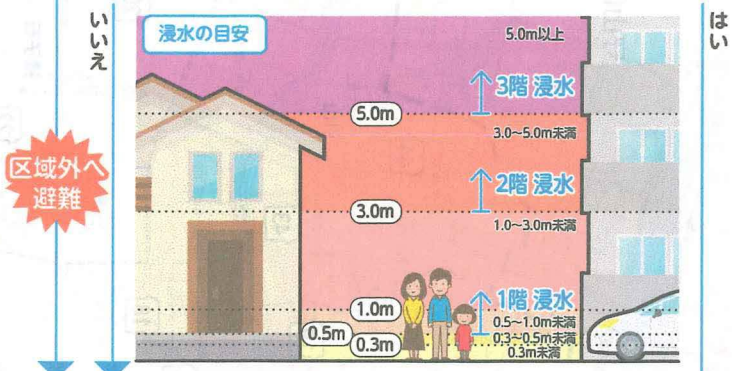
3 移動するときは、傘や長い棒などで足元を確認!

台風・大雨の場合

家がある場所は次の区域内ですか?

- ・土砂災害(特別)警戒区域
- ・家屋倒壊等氾濫想定区域

浸水のおそれのない高さに部屋はありますか?



安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか?

いいえ ▼ はい

指定緊急避難場所へ 親戚・知人宅などへ 自宅にとどまることも可能

- 土砂災害の危険があっても、十分頑丈なマンションなどの上の階に住んでいる場合は、自宅にとどまり、安全確保することも可能です。
- 浸水時間が長い場合は、家から外に出られなくなったり、ライフラインが使えず衛生環境が悪化したりするなど、生活に支障がでることがあります。そのため、食べものや飲みものなどの十分な備えが必要です。
- 「親戚・知人宅」などへの避難の場合は、各市町村の公式ウェブサイトなどでハザードマップを確認しましょう。

災害のおそれなくなり、自宅が被災して帰宅できないときは指定避難所へ。

名古屋市 指定避難所

防災情報の入手方法

災害発生時、または災害が発生するおそれがあるとき、緊急速報メール(エリアメール)、SNS(Twitter、Facebook)、市公式ウェブサイトなどさまざまな手段で防災に関する情報をお知らせしています。

詳しくはコチラ



災害時の連絡先

名東区役所(区本部)	TEL 778-3013	中部電力パワーグリッド旭名東営業所	TEL 0120-929-265
名東消防署	TEL 703-0119	東邦ガス星ヶ丘事業所	TEL 789-1161
名東土木事務所	TEL 703-1300	NTT西日本	TEL 113
東部管路センター(下水道)	TEL 721-2275	東部営業センター(水道)	TEL 722-8750

問い合わせ先

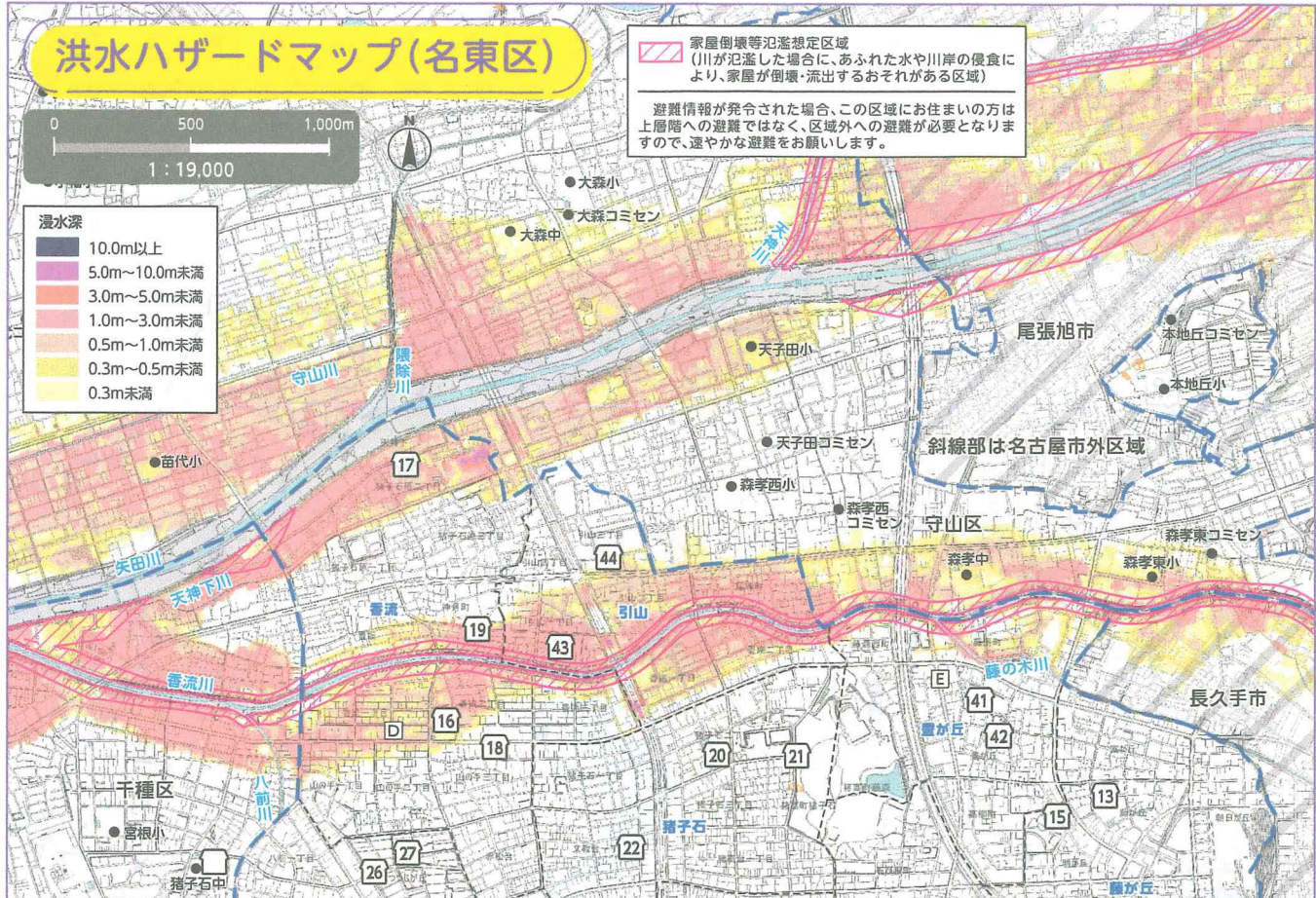
防災危機管理局危機管理企画室	TEL 972-3523
	FAX 962-4030

洪水ハザードマップ(名東区)



家屋倒壊等氾濫想定区域
 (川が氾濫した場合に、あふれた水や川岸の侵食により、家屋が倒壊・流出するおそれがある区域)

避難情報が発令された場合、この区域にお住まいの方は上層階への避難ではなく、区域外への避難が必要となりますので、速やかな避難をお願いします。



(説明文)
 図に示す洪水は、想定し得る最大規模の降雨により、河川が氾濫した場合に想定される浸水区域と浸水深等をシミュレーションにより算出しています。
 浸水区域や浸水深等はあくまで想定であり、様々な条件によって、想定より大きくなる場合もあります。
 この図は、国土交通省または愛知県が公表した、各河川の洪水浸水想定区域図、浸水予想図を基に浸水区域を重ね合わせ、作成しています。(浸水区域が重なる場合は、深い方の浸水深を表示)

～本図面の基となる洪水浸水想定区域図及び浸水予想図(名東区内)～
 (洪水浸水想定区域図) 矢田川 令和元年8月 愛知県公表 香流川 令和元年8月 愛知県公表 (浸水予想図) 矢田川・香流川流域 令和元年9月 愛知県公表

※他区の指定緊急避難場所への避難可否は、各区の各種ハザードマップをご覧ください。名古屋公式ウェブサイトにて全区のハザードマップを公開しています。

番号	施設名称(□印)	所在地	指定緊急避難場所 洪水・内水・土砂	番号	施設名称(□印)	所在地	指定緊急避難場所 洪水・内水・土砂
1	西山小学校	西山本通2-35	○	29	本郷コミュニティセンター	本郷一丁目238	○
2	神丘中学校	神丘町1-18	○	30	貴船小学校	貴船三丁目2301	○
3	西山コミュニティセンター	西山本通2-34	○	31	高針台中学校	勢子坊三丁目801	2階以上
4	上下水道高西山水処理センター	山香町404	○	32	貴船コミュニティセンター	勢子坊二丁目1304-2	○
5	名東小学校	亀の井三丁目134	○	33	極楽小学校	高針台三丁目901	○
6	名東コミュニティセンター	一社二丁目128	○	34	名東高等学校	大針一丁目351	○
7	西山台幼稚園	亀の井二丁目41	○	35	極楽コミュニティセンター	高針台三丁目801-2	○
8	高針小学校	高針二丁目1103	○	36	名東スポーツセンター	猪高町大字高針字勢子坊307-12	○
9	高針コミュニティセンター	高針二丁目1501	○	37	上社小学校	上社五丁目1002	○
10	猪高小学校	丁田町32	○	38	上社中学校	社が丘四丁目301	○
11	猪高中学校	丁田町33	○	39	上社コミュニティセンター	上社五丁目1501	2階以上
12	猪高コミュニティセンター	社口二丁目203-2	○	40	名東生涯学習センター	社が丘三丁目802	○
13	藤が丘小学校	藤が丘54	○	41	豊が丘小学校	豊が丘1501	○
14	藤森中学校	小池町66	○	42	豊が丘コミュニティセンター	豊が丘2108	○
15	藤が丘コミュニティセンター	明が丘18	○	43	引山小学校	引山一丁目1105	2階以上
16	香流小学校	香流二丁目1201	2階以上	44	引山コミュニティセンター	引山三丁目617	○
17	香流中学校	猪子石原二丁目1301	2階以上	45	平和が丘小学校	平和が丘一丁目1	○
18	香流コミュニティセンター	山の手三丁目902	○	46	東邦高等学校	平和が丘三丁目11	○
19	香流保育園	神月町604	2階以上	47	平和が丘コミュニティセンター	平和が丘五丁目29	○
20	猪子石小学校	猪子石二丁目1201	○	48	前山小学校	牧の里二丁目1501	○
21	猪子石コミュニティセンター	猪高町大字猪子石字饅饅園53	○	49	牧の池中学校	梅森坂一丁目2504	○
22	猪子石第二保育園	文教台一丁目920	○	50	梅森坂幼稚園	梅森坂三丁目210	○
23	梅森坂小学校	梅森坂四丁目201	○	51	前山コミュニティセンター	猪高町大字高針字梅森坂36-2	○
24	梅森坂コミュニティセンター	梅森坂四丁目101	○	52	北一社小学校	上菅一丁目101	○
25	蓬来小学校	よもぎ台一丁目501	○	53	千種高等学校	社台二丁目206	○
26	蓬来コミュニティセンター	つつじが丘301	○	54	北一社コミュニティセンター	社台二丁目190-3	○
27	猪子石第一保育園	つつじが丘201	○	55	牧の原小学校	牧の原三丁目401	2階以上
28	猪子石中学校	千種区千代が丘2-5	○	56	牧の原コミュニティセンター	高針原一丁目101-2	○
29	本郷小学校	本郷一丁目237	○				

指定緊急避難場所への避難

○災害の危険があり(特に避難情報(避難指示等)の発令時)、自宅には命が守れない場合は、災害の種類に応じた指定緊急避難場所へ避難してください。

○避難指示などによらず、自主的に避難しようとする場合には、事前に区役所へ連絡し、避難先などの確認を受けてください。

名古屋市災害対策本部・名東区本部(名東区役所)TEL/773-1111(代表) 778-3013(ダイヤルイン) FAX/773-7864

官公署(□印)

A 名東区役所 D 名東消防署猪子石出張所
 B 名東消防署 E 名東消防署豊が丘出張所
 C 名東消防署 皇ヶ丘出張所 F 名東土木事務所

凡例

指定緊急避難場所 命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所。	区界
アンダーパス 大雨が降ると道路冠水を起こし、通行止めとなる箇所。	学区界 (学区界はおおよそです。詳しくは、各学区役所へお問い合わせください。)
土砂災害(特別)警戒区域 土砂災害の発生のおそれがある区域。	区外の指定緊急避難場所

この地図は、平成27・28年作成の都市計画基本図を使用しました。なお、必要に応じて作成後の状況を修正しています。

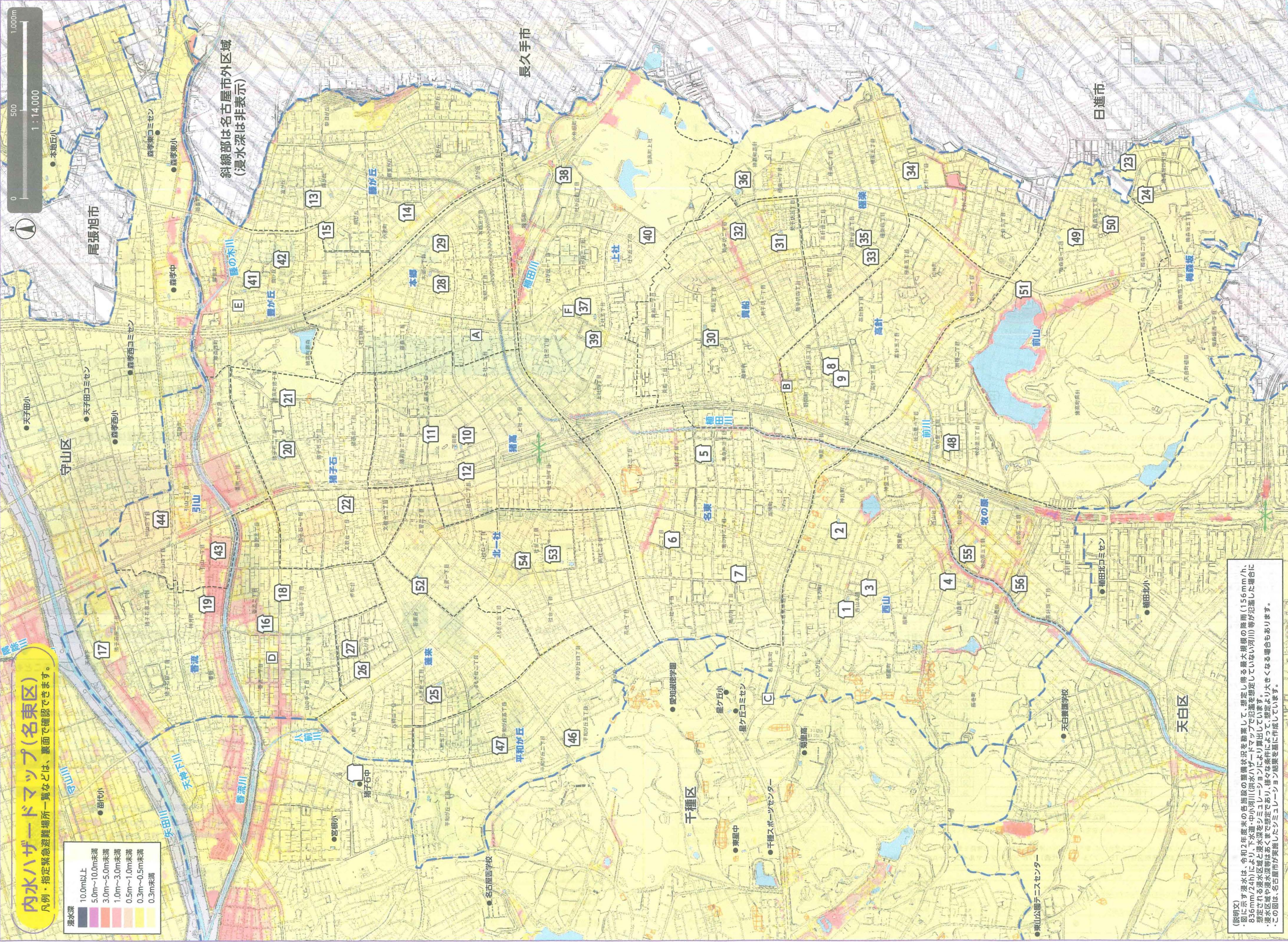
日進市・長久手市・尾張旭市については、各市の承認を得て都市計画基本図を使用しました。(承認番号 日進市:3日都第256号 長久手市:3長都第162号 尾張旭市:令和3年第1号)

土砂災害情報マップ、愛知県、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示2.1日本 (<http://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/>)

内水ハザードマップ(名東区)

凡例・指定緊急避難場所一覧などは、裏面で確認できます。

浸水深
10.0m以上
5.0m~10.0m未満
3.0m~5.0m未満
1.0m~3.0m未満
0.5m~1.0m未満
0.3m~0.5m未満
0.3m未満

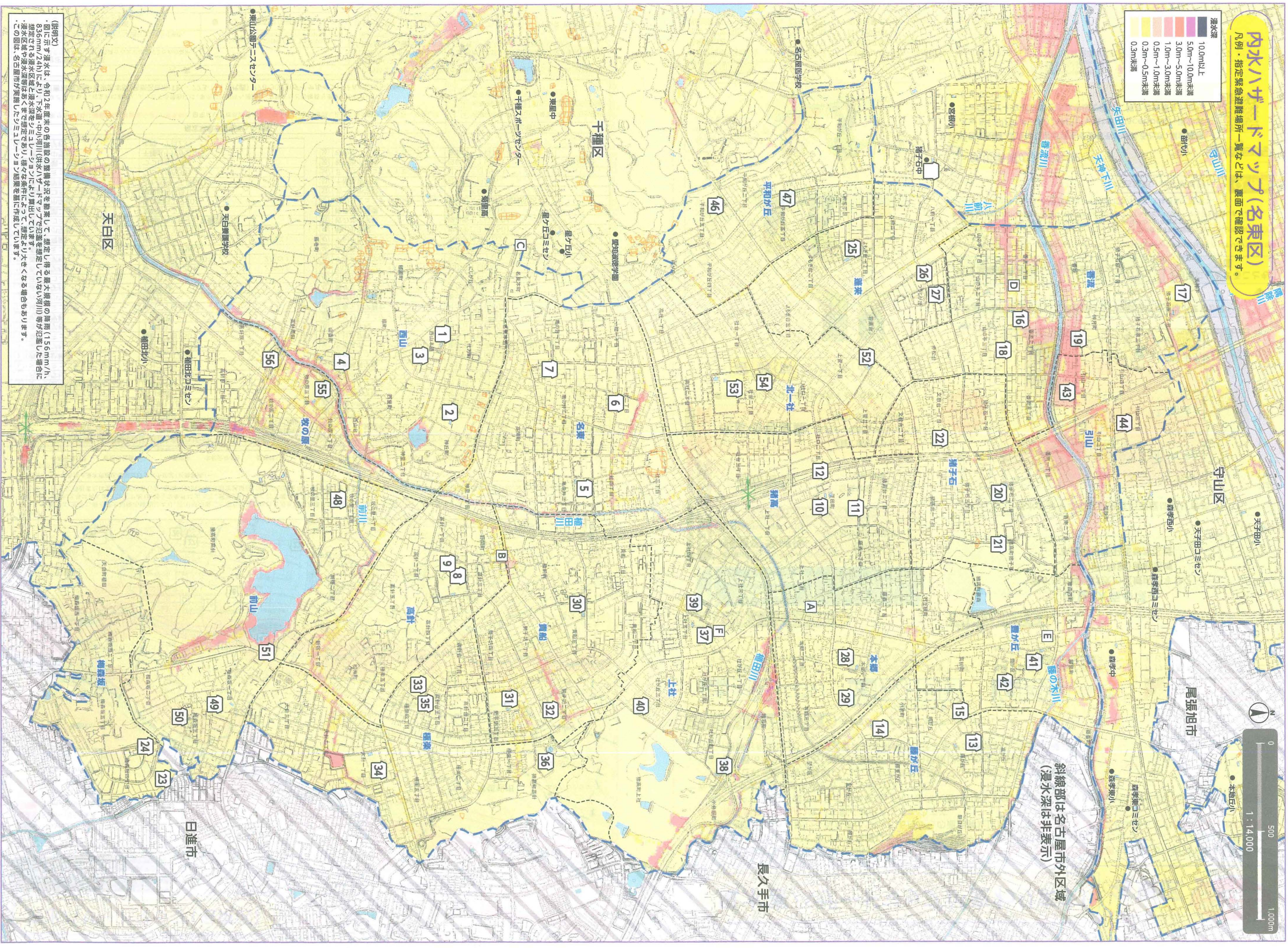


(説明文)
 ・図に示す浸水深は、令和2年度末の名古屋市の要請状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨(156mm/h、83.6mm/24h)により、下水道・中小河川(洪水ハザードマップで浸水を想定していない河川)等が氾濫した場合に想定される浸水区域と浸水深をシミュレーションにより算出しています。
 ・浸水区域や浸水深等はあくまで想定であり、様々な条件によって、想定より大きくも小さくもなる場合があります。
 ・この図は、名古屋市長が実施したシミュレーション結果を基に作成しています。

内水ハザードマップ(名東区)

凡例・指定緊急避難場所一覧などは、裏面で確認できます。

浸水深
10.0m以上
5.0m~10.0m未満
3.0m~5.0m未満
1.0m~3.0m未満
0.5m~1.0m未満
0.3m~0.5m未満
0.3m未満



斜線部は名古屋市外区域
(浸水深は非表示)

(説明文)
 ・図に示す浸水は、令和2年度末の各箇所の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨(156mm/h、83.6mm/24h)により、下水道・中小河川(洪水ハザードマップで浸水を想定している河川)等が氾濫した場合に想定される浸水区域と浸水深をシミュレーションにより算出しています。
 ・浸水区域や浸水深等はあくまで想定であり、様々な条件によって、想定より大きくなる場合もあります。
 ・この図は、名古屋市の実施したシミュレーションの結果を基に作成しています。



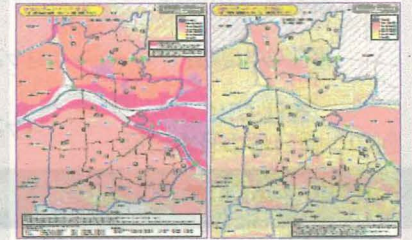
④「浸水想定が大きく変わる風水害」について「広報なごや特集号」でいち早くリスク情報を提供！ (令和4年3月号)

ハザードマップで何を確認すれば良いのかな？



命を守るための避難行動を確認してください

- 想定される風水害の種類ごとに、自宅周辺の浸水深など災害の危険性を確認しておきましょう
- 名古屋市から出される「避難を判断するための情報」とその入手方法を確認しておきましょう
- 「避難行動の目安」に基づく具体的な避難先とそこまでの経路や時間を確認しておきましょう
 - ・自宅にとどまる（在宅避難）
 - ・安全な親戚、知人宅に避難する
 - ・命を守るための避難場所（指定緊急避難場所）へ避難する



令和5年3月の地震・津波を含む新しいハザードマップの配布より前に、ホームページでも確認できるのね。



新ハザードマップは全戸配布にさきがけて、令和4年6月から公式ウェブサイトで見ることができます。



⑤「命を守る地図」(ハザードマップ)の周知・啓発に取り組みます。

- ◆さまざまな機会をとらえ広報啓発に取り組みます
 - ・総合水防訓練、総合防災訓練、津波防災の日など
 - ・さまざまな広報媒体の活用

啓発用のチラシ
メディア
SNS



- ◆地域でのきめ細やかな周知・啓発に取り組みます

- ・地域（学区等）での説明会や勉強会
- ・地区防災カルテを活用した地域での話し合い
- ・市政出前トーク



⑥ご家庭でも避難について話し合いましょう

マイ・タイムラインは、災害が迫った時、命を守るためにどう行動するのかを事前に考えて、時系列にまとめておくものです。

ご家庭でもマイ・タイムラインを作成しながら、避難行動について考えましょう。

あらかじめ時系列にまとめ、整理しておくことで、いざというときに、慌てずに避難ができるのね。



① どうしてハザードマップが新しくなるの？

- 近年、全国各地で災害が激甚化・頻発化
⇒国の目標： **少なくとも命を守り、社会経済に壊滅的な被害が発生しない**
- 平成27年に水防法の改正により、洪水、内水氾濫、高潮のハザードマップの作成を義務付けられる
- 令和3年度にハザードマップの基となる浸水想定が出揃う

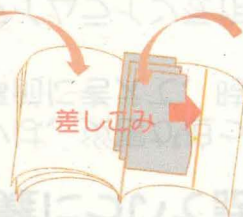
ハザードマップの改定へ！

「過去に起こった最大規模等」⇒「想定し得る最大規模」の浸水想定

② 新ハザードマップの作成

洪水、内水氾濫、高潮に加え、地震津波等のすべての災害を対象にしたマップと、防災情報や日ごろからの備えなどをまとめたガイドブックを令和5年3月に全戸配布予定。

ガイドブックの裏表紙内側のポケット部分に、すべてのマップとマイタイムラインを差しこみ、1冊で保存ができます。



- 各種災害のマップ
 - 避難所マップ
 - マイ・タイムライン
- (本紙「◎ご家庭でも避難について話し合いましょう」参照)

③ 想定し得る最大規模の浸水想定をもとにハザードマップを作成することが義務付けられた



想定し得る最大規模の浸水ってなあに？

洪水は、例えば庄内川の場合、東海豪雨の1.5倍以上の雨（24時間の間に578mm）を想定しているんだよ。イメージとしてバケツをひっくり返したように降る雨が1日中続く感じなんだ。

●近年の豪雨における降雨量（特定地点の降雨量）

	地点	降雨量	主な災害
平成30年7月豪雨	馬路村（高知県）	691mm/24h	西日本を中心に多くの河川が氾濫
令和2年7月豪雨	日田市（大分県）	497mm/24h	球磨川の氾濫
令和3年7月	箱根町（神奈川県）	543mm/24h	熱海市で大規模な土砂災害

※このような雨が広い範囲で降ると、最悪の場合、ハザードマップに示したような災害の恐れがあります。

台風は、伊勢湾台風よりも大きい室戸台風級の台風が襲来して、この地域で被害が一番大きい場合の想定だって、防潮壁を越えるような高潮を想定しているのよ。



満潮時など、最悪の条件が重なった時を想定しているのね。

